令和７年２月１２日

保護者の皆様

吹田市立南山田小学校
校　長　佐野　賢治

学 校 ア ン ケ ー ト の 結 果 に つ い て

「学校教育アンケート」にご協力いただき誠にありがとうございました。
今回、児童アンケートは学校にて実施し、保護者アンケートはFORMSを活用した形式でお願いしたところ５２０通（回収率は５８．８％）の回答をいただき、集計結果をまとめました。昨年度は７０％を超える回答をいただいておりましたが、今年度は回収率が下がり、今後、よりたくさんの回答をいただけるよう啓発が必要と考えております。また、この調査はほぼ同じ項目で実施しており、経年比較も含めた結果をもとに、学校の教育活動を検証し、今後の学校教育の活性化や改善の資料として活かしてまいります。

【１．児童アンケートより】

１　今年度、肯定的意見が大きく増えた項目は、以下の項目でした。

【低学年】・学校は楽しい。
・給食は、楽しみだ
・学校の行事は楽しい。
・授業などでわからないことがあった時など、失敗を恐れずに「やってみよう」という気持ちで取り組んでいる。

【中学年】・地震や火事、不審者が現れたとき、どうしたらよいかを学ぶことがある。
・学校の行事は楽しい。
・先生は、いじめなどで自分が困っている時、話を聞いてくれて助けてくれる。
・困ったことを相談できる先生がいる。
・「あゆみ」をもとに、がんばったところや苦手なことがわかる。
・先生は自分が努力したことを認めてくれる。
・授業では、実験・観察・実習をしたりする。
（学習動画などを通して学ぶことも含む。）

【高学年】・学校は楽しい。
・地震や火事、不審者が現れたとき、どうしたらよいかを学ぶことがある。
・学校の行事は楽しい。
・ｉＰａｄを活用しながら学習している。

２　昨年度と比べて、肯定的な回答が大きく減った項目は、以下の項目でした。

【低学年】・先生は、いじめなどで自分が困っている時、話を聞いてくれて助けてくれる。
・困ったことを相談できる先生がいる。
・先生は、いろいろな工夫をして教えてくれて、授業がわかりやすい。
（ICT機器を活用した授業も含む。）
・授業で、自分の考えをまとめ、発表することがある。

【中学年】・授業などでわからないことがあった時など、失敗を恐れずに「やってみよう」という気持ちで取り組んでいる。

【高学年】・授業の中で、自分の生き方について考えることがある。
・授業などでわからないことがあった時など、失敗を恐れずに「やってみよう」という気持ちで取り組んでいる。

今回の調査では、どの学年においても、肯定的な回答が80％以上の項目が多かったです。何より80％以上の子どもたちが「学校へ行くのは楽しい」と感じてくれており、低・中・高学年に関係なく、肯定的な回答が高いです。しかしそのなかで、全体の１３％の子どもたちが「学校へ行くのは楽しい。」項目に対し、「思わない」または「わからない」と回答しています。それぞれの子どもの実態に応じて、気持ちを理解しながら、学校としての取り組みを進めていきます。
「学校の行事は楽しい。」も、学年に関係なく肯定的な回答が高いです。宿泊行事、校外学習、運動会、南山田カーニバル、音楽会など、子どもたちがそれぞれに与えられた役割を頑張ることで個々の力を伸ばし、クラスや学年の団結も強まる学校行事は、子どもたち自身も成長が実感できるものと考えます。それぞれの行事の目的に沿って、次年度以降も学校行事に取り組んでいきます。
全体の中で、肯定的な回答がとりわけ高かったのが「朝食は毎朝食べている」で、９４％の子どもたちが毎朝食べていることがわかりました。家庭において生活リズムをつくり、学校に送り出してくださっていることが小学生の子どもたちの健やかな学びに大きくはたらいていると考えています。関連して「給食は、楽しみだ」と思っている子どもが９０％を超えていて、この状態を続けたいと考えています。
学年によって変化があったのは、「授業などでわからないことがあった時など、失敗を恐れずに「やってみよう」という気持ちで取り組んでいる。」の項目です。低学年では肯定的意見が増えていますが、学年が上がるとその割合は減っていきます。間違うことが恥ずかしいという気持ちがあったり、課題に対する見通しが立ちにくかったりといった要因があるのではないかと分析しています。間違いを恐れずに挑戦していることを褒め、間違いから学ぶ機会を大切にしたいと考えています。また、子どもの発達段階に応じて、決められたことをするだけでなく、自分で選択する機会を持ち、「やってみよう」と思える学習を考えていきます。
「先生は、いじめなどで自分が困っている時、話を聞いてくれて助けてくれる。」は、低学年において肯定的意見が減りました。いま全学年で「いじめ予防授業」に取り組み、困ったときは誰もが話を聞くことを学んでいますが、折に触れ、周りに助けを求めていいことを思い出させるようにしていきます。同様に「困ったことを相談できる先生がいる」ように、ふだんから学級担任以外の先生が教室に出入りし、子どもたちが気軽にお話ができるようにしていきます。
今年度本校は、国語の授業づくりを研究してきました。授業を通して子どもたちは自分の意見をもち、表現し、それを評価されることで自信を持ちます。次年度以降もこの研究を深め、日々の授業に生かしていきます。

【２．保護者アンケートより】

１　肯定的回答が８０％以上の項目は、１９項目中１１項目でした。特に高い評価の項目・昨年度より大きく増えた項目は、以下の項目でした。

・「あゆみ」は、子どもの学力や到達度を適切に評価できるように工夫されている。
・学校が、保護者に授業参観や学校行事などを公開する機会を設けている。
・子どもは、給食を楽しみにしている。

2　昨年度と比べて、肯定的な回答が減った項目は以下の項目でした。
・学習の内容や進度等を、おたよりなどによって知ることができる。
・学校は、保護者・地域の願いに応じようとしている。
・学校が保護者に出す文章・事務連絡などは適切であり、教育方針、内容をわかりやすく伝えている。

3　肯定的な意見が特に少なかった項目は以下の項目でした。
・学校の設備・学習環境に満足している。
・学校はいじめのない学級づくりに取り組んでいる。

回収率が今年度は低く、単純に昨年度と比較することはできませんが、例年と同様に、肯定的な回答が８０％以上の項目が多く、学校として、教職員が同じ方向を向いて取り組むうえでとても心強く、ありがたいと感じています。
「あゆみ」については、フォーマットの変更により見やすいものになったのではないかと分析しています。また、今年度は、運動会・音楽会・授業参観などにおいて、たくさんの保護者の皆さんに来校いただき、子どもたちの頑張りや成長を見ていただけました。見て、評価してもらえることで、子どもたちはまた一段と張り切ります。日々の給食については、子どもも保護者も関心が高く、給食を家庭で話題としていただければと存じます。
いっぽう、肯定的な回答が減った項目があります。今学校でどんなことを学んでいるかに興味を持っていただくことは、子どもの学習意欲につながります。学習の内容や進度については、毎月の学年だより等で確認していただくとともに、子どもたちが持ち帰る教科書や学習成果物に関心を寄せていただければと存じます。また、学校がいままで紙で「お手紙」を渡していたものが、少しずつさくら連絡網のメールを通してお渡しする形へと変えています。このことについては賛否両方のご意見をお聞きしています。ただ、紙からメールへと移行する流れがあり、その中で何を紙で残すのか、検討しながら進めていきたいと考えています。
学校の設備については、体育館の空調工事をはじめ学校設備の改善は進んでいるものの、より安全で快適に過ごせるように学校施設の維持向上に関して市と連携しながら取り組んでいます。
いじめの取り組みについては、普段の学級での指導に加え、全学年で年間３回の「いじめ予防授業」を行い、いじめを起こさないための行動を学習しています。いじめが生起した場合は、組織的な対応を行い、保護者と連絡を取り合いながら指導や見守りをしています。いじめ対応で取り組んでいる内容については、ケースバイケースですが、発信することに努め、ご家庭でも支援していただけるよう進めていきます。

【３．保護者の皆様からのご意見より】
自由記述欄に、たくさんのご意見、ご感想、そして温かいお言葉をいただきました。ありがとうございました。
日ごろ疑問に感じておられることについては、気になった時に学校に連絡をください。具体にお話をいただけると、学校の取り組みに反映させやすいと考えています。
ここでは、全体に関わる内容について趣旨を記載し、回答させていただきました。いただいたご意見は、全教職員が目を通し、今後の教育活動に活かしてまいります。ご理解の程よろしくお願いいたします。

《学校安全》
◎警備員さんの職務態度に疑問を感じます。不審者の侵入等があった場合、不安を感じます。

警備員さんの勤務については、警備会社を管理する市の担当部署と連絡を取り合い、適正に勤務されるようにしています。勤務態度に関するご意見はこれまでもあり、学校が直接警備員さんに伝え、襟を正すよう話したこともあります。今後気になることがあれば教えてください。

《学校行事》
◎今夏６年生の遠泳がなくなり大変残念に思っています。最近の猛暑や南海トラフ地震の影響が強いというのは理解していますが、大人になっても心に残っている泊り合宿ですので、目的が違うものであっても継続していただきたいと思っています。

臨海学習については、９月にお伝えしましたように中止しました。理由は暑さ対策が大きく、ご理解をお願いします。
ここ数年の厚さは厳しく、体調管理のため、今は国の規定により、暑さ指数が所定の数値を超えれば外での活動に制限がかかります。今年度の臨海学習では、１日目は雷のため途中で終わり、２日目は曇り空でしたので、予定していたことができました。しかし、２日目の暑さ指数は、ぎりぎりで運動可能な状態を示しており、もし２日目が晴天であったならおそらく所定の数値を超え、海での活動ができなかった可能性があります。
臨海に出向く７月下旬はたいへん暑い時期にあたり、晴れてほしいけれど、晴れていたら２日間とも活動ができない可能性が大いにあります。
市内の他校においても臨海をやめるところがあり、今は臨海に行かない学校のほうが多い状況にあります。
ただ、命を守る水泳学習として、平泳ぎで続けて長く泳ぐ吹田の伝統はそのままですので、校内で「６年生水泳記録会」のような行事をつくり、そこに向けて練習するように検討中です。

《アイパッド（端末）の家庭での活用》
・アイパッドを毎日持ち帰る必要があるのか疑問です。アイパッドはやはり重たいし、登校する距離もだいぶ差があり、長い距離を歩くのにランドセルが重たすぎる。

吹田市の方針にあるように、文房具として当たり前に活用できる子どもを育てるために、デジタルシチズンシップ教育を行っております。アイパッドの持ち帰りについては、教育的な効果も考え、適切に行っていくため検討を重ねています。学年や子どもの実態、今学習している課題の内容や使用頻度など、総合的に考えて、持ち帰り方を指定させていただいています。
家で調べたい時にいつでも調べられたり、ドリルパークなど主体的な学習への活用ができたりするメリットもあります。充電だけのための持ち帰りにばかりならないよう、効果的な活用方法についてさらに検討を進めていきます。

【４．まとめにかえて】
今回のアンケートを通して、保護者の方が学校での取り組みに高い関心をもっておられ、よりよい学校となるようにさまざま思いをお持ちのことをあらためて感じています。
子どもたちは、毎日の生活を通して、新しいことを吸収し成長していきます。学校での子どもたちの姿の発信に努めますので、今後とも子どもたちの学校の様子をご覧いただき、ご家庭で学校のできごとを話題としていただきたいと思います。
今回いただいたご意見を学校として真摯に受けとめ、学校と家庭が連携を図りながら子どもたちの教育に取り組んでいきたいと考えております。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。